

2021 年度 小委員会活動成果報告

(2022 年 2 月 4 日作成)

小委員会名	視環評価小委員会	主 査 名：奥田紫乃 就任年月：2021 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学本委員会 (光環境運営委員会)	委員長名：秋元 孝之 主 査 名：原 直也
設 置 期 間	2021 年 4 月 ～ 2025 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>(設置目的) LED 光源や色光利用の普及が進むなどの新たな光環境に適合した明視性や、明るさ、グレア、色・質感に関する視環境の評価法を整理・集約することにより、視環境評価に関する課題を抽出し、それらの課題ごとに WG を設置して組織的に検討・整備する。</p> <p>初年度：各 WG の活動内容と方針を議論する。</p> <p>2 年度：3-4 年度に設置する新たな WG で取り組むべき活動方針を議論する。 小委員会及び WG の活動状況を踏まえてシンポジウムを開催する。</p> <p>3 年度：各 WG の活動内容と方針を議論する。</p> <p>4 年度：4 年間の活動を取り纏めたシンポジウムを開催する。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：無</p> <p>主査：奥田 紫乃 (同志社女子大学) 幹事：岡本 洋輔 (大同大学) 委員：明石行生 (福井大学), 秋月有紀 (富山大学), 加藤未佳 (日本大学), 加藤洋子 (交通安全環境研究所), 神農悠聖 (大手前大学), 原直也 (関西大学), 望月悦子 (千葉工業大学), 山口 秀樹 (国土交通省国土技術政策総合研究所)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	<p>明視評価 WG：明視性に関連が深い研究について、それらの間の関係性を見出した上で研究を整理・布置することで、有機的な分類を行う。</p> <p>明るさ評価 WG：前身 WG で取り組んだ広視野範囲の平均輝度をベースとした明るさ評価に対応する物理量の検討結果を踏まえ、設計目標値としての空間の明るさ評価手法を検討する。</p> <p>グレア評価 WG：光源の種類や用途によらず、また、減能グレアと不快グレアを統一的に扱えるグレア評価方法の開発に向けた課題を整理するとともに、統一的なグレア評価方法の確立に向けた研究の方向性について議論する。</p> <p>色と質感評価 WG：建築内外装面の色や質感の見え方を評価する方法を可能にするために、その影響因子を整理し、それら因子により見え方を予測するための評価方法と、その評価に必要な因子の特性を表す指標を検討する。</p>	
2021 年度予算	80,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：無

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	なし
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	なし
大会研究集会	なし
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 各 WG の活動内容と方針を議論した。 2. WG 活動が活発に行われた。
委員会活動の問題点 ・課題	なし